

2020年(R2年)

3月

No. 337

ひとははろうしん



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

- 今年(ことし)は、変(へん)な気候(きこう)のまま、雪(ゆき)を見ることもなく春(はる)がや(や)ってきたように感じ(かん)じます。この異常(いじょう)気象(きしょう)だと日本(にほん)の四季(しき)はどうな(な)ってしまう(し)まう(う)のだらう(らう)と心配(しんぱい)する(す)ばかり(ばかり)です。
- さて、ひとは福社会(ふく)では、毎年度(まいねんど)末(すえ)に各事業所(かくしぎょうしょ)・部門(ぶもん)による1年間(いちねんかん)の取組(とりぐみ)みの報告(ほうこく)を行う(おこな)う「実践報告会(じっせんほうこくかい)」を行(おこな)っています。現状(げんじょう)のホム・作業所(さぎょうしょ)、工房(こうぼう)、あぶ(あぶ)等の事業所(しぎょうしょ)による体制(たいせい)にな(な)ってからは、中々(なかなか)他の事業所(たまたまのしぎょうしょ)の取組(とりぐみ)みを知る(しる)機会(きかい)は少(すく)なくな(な)ってきている(い)るので、この報告会(ほうこくかい)は他の部署(ほかにぶ)の取組(とりぐみ)みを知る(しる)とともに、学(まな)びを深(ふか)める機会(きかい)にもな(な)り、非常(ひじょう)に良(よ)い場(ば)だと思(おも)っています。
- 私(わたし)が所屬(しょじやく)している「就労センターあぶ(しゅうらうせんたーあぶ)」では、「梨ゼリー開発(りぜりーかいはん)を通(と)じて特産品(とくさんひん)応援(おうえん)と題(だい)して発表(はつぱつ)を行(おこな)います。梨ゼリー(りぜりー)の開発(かいはん)がスタート(スタート)してもう4年(よんねん)も経(た)つのかと驚(おどろ)きです。
- 振り返(ひざりかえ)ってみると、梨ゼリー(りぜりー)の開発(かいはん)には、市役所(しやくしょ)、JA(じや)、広島県(ひろしまけん)就労振興(しゅうらうしんこう)センター、広島県(ひろしまけん)洋菓子協(やうかしけい)会(かい)の高野(たかの)さん、安芸高田市(あきたかたし)梨部会(りぶかい)・田邊農園(たべのうゑん)と色々(いろいろ)な繋(つな)がりかあ(あ)ってでき(でき)ていることを改(あらた)めて実感(じつかん)。中(な)でも梨(り)の提供(ていき)だけでなく、実際(じつざい)に梨園(りえん)の袋掛(ふくかけ)作業(さぎょう)などを一(いっ)緒(じゆ)にさせ(させ)ていた(いた)たご(ご)い(い)る田邊農園(たべのうゑん)さん(さん)の存在(そんざい)は非常(ひじょう)に大(おほ)きです。梨園(りえん)での作業(さぎょう)は2020年度(2020ねんど)ど(ど)ろ度目(どろどめ)に入(い)ります(ら)が、障(しょう)がいのある人(ひと)として接(あ)はれる(ら)るのではな(な)く、いち労働者(いちらうどうしや)として皆(みな)さん接(あ)はれ(ら)れてく(こ)た(た)さ(さ)せています(います)。先(ま)日(ひ)改(あらた)めて田邊(たべ)さん(さん)にお話(おはなし)を伺(うかが)いに(に)行(い)った際(さい)にも「単(たん)独(どく)かとして、本(ほん)当(たう)に助(たす)か(か)っているん(ん)です(す)。業(ごう)業(ごう)にと(と)って、ア(ア)ルバ(ルバ)イト(イト)を雇(か)用(よう)する(する)のも皆(みな)さん(さん)に働(はたら)か(か)せてもら(もら)う(う)のも同(どう)じで、何(なに)の違(ちが)いもあ(あ)りませ(ませ)ん。僕(ぼく)は農福連携(のうふくれんけい)とい(い)う言葉(ことば)が嫌(きら)いです。な(な)せ福社(ふく)だけ(だけ)そのよ(よ)うな言葉(ことば)を使(つか)うのか(か)とそ(そ)う言(い)われま(ま)した(た)。
- 製(せい)品(ひん)を通(と)じて、地(ち)域(いき)の繋(つな)がりも、「あ(あ)んたら(たら)が(が)あ(あ)って(て)く(こ)れる(る)け(け)え(え)助(たす)かる(る)よ(よ)」と一(いっ)緒(じゆ)に働(はたら)か(か)せる関係(かんけい)こそ、お互(おたが)い様(さま)の関(かん)係(けい)であり、協(きょう)働(どう)だ(だ)と感(かん)じます。これ(これ)から(から)もな(な)お一(いっ)層(そう)つな(つな)が(が)り(り)を強(つよ)め、福社(ふく)で(で)でき(でき)る地(ち)域(いき)づ(づ)くり(くり)の一(いっ)翼(よく)を担(たか)え(え)れば(ば)と思(おも)います。

(就労センターあぶ 城崎 高治)

あたらしく入(はい)ったひとはの仲間(なかま)たち(スタッフ)

<p>① 原田(はらだ)ちえみ</p> <p>② ひとは工房(こうぼう) ひとは館(かん)</p> <p>③ フォークラス会(かい)をした時(とき)のこと。どん(どん)な老(ろう)化(か)現(げん)象(しょう)かお(お)きて(て)いる(る)か自(じ)慢(まん)で目(め)大(だい)爆(ばく)発(はつ)しま(しま)す。</p>	<p>① 重原(しげはら)泰(たい)典(けん)</p> <p>② ひとは工房(こうぼう)</p> <p>③ 2歳(さい)の孫(まご)と遊(あそ)んでいて、寝(ね)たふ(ふ)り(り)を(を)して(して)い(い)たら、唇(くちわ)にチュ(チュ)♡</p> <p>カワイイ...!</p>	<p>① 出原(いではら)昭(あき)宏(ひろ)</p> <p>② ひとはぼ(ぼ)こ</p> <p>③ フ(フ)タ(タ)のおも(おも)ちゃ(ちゃ)の「フ(フ)ー(ー)ー(ー)」とい(い)う声(こゑ)を聞(き)いてヒビ(ヒビ)った時(とき)の飼(か)い犬(いぬ)の様(よう)子(こ)がど(ど)もお(お)もしろ(ろ)う(う)か(か)た(た)です(す)。</p>
--	---	---

① 名前 ② 所属 ③ 最近、笑(わら)った話(はなし)

ひとはの商品(しょうひん)紹介(しょうかい)

ひとは館(か)のいちご(いちご)あいす

ひとは農園(のうゑん)で栽培(かいばい)され(ら)れたいちご(いちご)を使(つか)ったあいす。ハ(ハ)タ(タ)取(と)り(り)や(や)実(み)を刻(き)む仕事(しごと)は服部(はくべ)さん(さん)が(が)行(い)って(て)います(います)。

いちご(いちご)の香(か)り(り)一(いっ)杯(はい)の製(せい)造(ぞう)室(しつ)で、本(ほん)店(てん)では4月(しがつ)頃(ころ)から、産直(さんちき)市(いち)店(てん)では道(みち)の駅(えき)オ(オ)ー(ー)ン(ン)からの販(はん)売(ばい)に向(むか)って準(じゆん)備(び)中(ちゆう)中(ちゆう)中(ちゆう)。ショー(ショー)ケース(ケース)での購(こう)入(にゅう)の際(さい)には実(み)が、入(はい)っ(っ)て(て)いる特(とく)典(てん)も!!

だけじゃない(だけじゃない) 梨(り)ゼ(ゼ)リー(リー)

安芸高田市(あきたかたし)は、神楽(かみら)もも(もも)元(もと)就(しゆ)か(か)が有(あ)り(り)な(な)が(が)る(る)が(が)有名(めいめい)ですが(が)、それ(それ)だけ(だけ)ではな(な)く、梨(り)も昔(むかし)から有(あ)り(り)な(な)が(が)る(る)た(た)とい(い)うこと(こと)から「だけじゃない(だけじゃない) 梨(り)ゼ(ゼ)リー(リー)」が(が)誕(た)ん(ん)生(せい)しま(ま)した(た)。

2年(にねん)前(まへ)の冬(ふゆ)から入(い)れ物(いれもの)はカ(カ)ップ(ップ)に(に)変(か)わり、現(げん)在(ざい)は230円(230えん)で販(はん)売(ばい)。梨(り)の皮(かわ)む(む)き、芯(こゝろ)抜(ぬ)き、カ(カ)ット(ット)、材(ざい)料(りょう)計(けい)量(りょう)シ(シ)ー(ー)ャ(ャ)ま(ま)で(で)き(き)ら(ら)の仲(な)かま(ま)が(が)一(いっ)人(ひと)一(ひと)で(で)き(き)る(る)ところ(ところ)を担(たか)っています(います)。また(また)生(なま)もの(もの)とい(い)うこと(こと)も(も)あり、ひ(ひ)と(と)つ(つ)て(て)細(こま)か(か)いところ(ところ)まで(まで)気(き)を配(ばい)て、製(せい)造(ぞう)して(して)います(います)。

12個(12こ)セ(セ)ット(ット)3500円(3500えん)(送料(送料)別(別))の(の)ところ(ところ)、7月(しちがつ)に(に)載(の)った言(い)ひ(ひ)で(で)これ(これ)から(から)は3000円(3000えん)(送料(送料)別(別))で販(はん)売(ばい)して(して)い(い)ま(ま)す(す)。

「節分パーティー」



2月2日共同ホームでは一日早く「節分パーティー」を開催しました。
 午前中は、女子生徒とスタッフがカップ寿司づくり。カリッ卵を作ったり、お寿司の飾りつけをしたりといつもと違う休日に。炒り卵を担当した美江さんは「卵どうだった」と聞いて回り「美味しい」と言われ、満面の笑み。午後からは、待ちに待った豆まき。スタッフのみならずきららの仲間にも鬼に扮してもらい、豆とチョコレートが飛び交いました。ホームに福の神、呼び込めたかな？ (共同ホーム 笹川 琴未)

「誘われたっ！」



Mくんはレゴブロック名人。春に出会った頃には、はたらく車を次々に作ってはみんなに「すごい！」と言われている。しかし最近、作る物がゲームで見たものに変わってきたのかな？と思いついたある日、自分に見立てたレゴを持ったMくんから「一緒にいきますか？」と言われまじ。返事はもちろん「はい！」私は急いでレゴを組み合わせ、出発!! お城の中を抜け、森に入り、洞窟の中へも。時々ワークもします。またお城に戻った時、Mくんから「ごはん食べますか？」と聞かれ「食べます」と答えると、レゴでオムライスを作り、ペんに旗を立てて「食べて」と言ってくれたのです。Mくんの楽しいひとときでした。

(ひあ・くらぶ 川本 三ハ子)

「おこってな〜い？」



私の1日の始まりは、築地さんの「おこってな〜い？」に「おこってな〜い」と答え、築地さんの「にこ😊は？」に私がニッコリ笑顔。笑顔に納得したら「うん😊」と築地さんも笑顔。そんないつものやりとりが、私にとっては心地よい瞬間です。ある日、築地さんが「キャンデー(紐の色分け)作業をしている時、「築地さん、青のキャンデー(紐)ください」と言うと、築地さんは「ブルーどうぞ」と英語で返してきました。一本取り入れた瞬間でした。そして1日の終わりは、築地さんの「明日来る？」に「明日来るよ、待ってるよ」と返します。こんなやりとりの毎日に喜びを感じます。

(ひとは、窓 増岡 雪枝)

「場面によって」

アグリサポートでは発酵もみ殻を製造していますが、冬場には原料となるもみ殻を大量に引き取りに行く作業があります。ある日の作業前に藤原さんがふと「えとあるね」「ふ〜けえあるね」とつぶやいていることがありました。普段、自分から話しかける事はあまりないのですが、仕事を頑張らな〜いといけな〜いと思ったのでしょう。別の機会に私から「今日もえとあるけえ頑張ろうぞ」と伝えると、藤原さんは「いっほいあるね」と標準語での返答でした。広島弁の語り口は自分を真似たのかなと思いましたが、場面によって言葉を使い分けているように感じました。(就労センターあふ 則川 靖久)

「発見！毎日使える！」



「おはよう。元気？」と声をかけられ、「おはようございます。元気です。」と返す。あちらからこちらからも1日数回「元気？」ときららの仲間から。おはようだけでは終わらな〜い「元気？」は相手を思い、とてもやさしい。「〇〇さんはお元気ですか？」と会話が続く。これまでの私は、久しぶりに会う家族・友人に対してかける言葉だったのですが、実はそれだけではなく、今日も明日も明後日も交わせる言葉なのです！毎日使える！きららの仲間は毎日のように使っている！と気づきました。ぐんとお互いの距離が近くなるし、風邪気味の日でも「元気です！」とつい笑顔で答えてしまう。私の中の最近の発見です。(事務局 築城 暁子)

編集後記

書店で目にとまった「ないうあおに」の絵本。住職の園長先生の執筆、赤おにの御八の字に示されてはるかお寺の裏庭のにおいと覚えている。65年前の今はないお寺の馬鹿敷。温泉においは春光の積のような……。今、話題の映画「パラサイト 半地下の家族」を観る。深く暗く映画のあと 心の中に「におい」が残る。青尾 順子

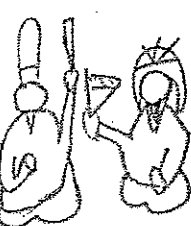


イラスト: 政本 優